

# 各種説明・注意事項

## 1. 各団体からの申込みの方法について

\*詳しくは「要項 16地域別大会申込データ作成の手順」、「要項 17大会申込の送付手順」、「要項 18支部申込場所」の項目をよく読んでください。

1. すべての大会について各顧問及び団体責任者が中体連HPより申込ファイルをダウンロードし、参加選手のデータを入力する。〔自動番組編成を行うため、必ず指示された方法で入力すること〕  
※特に、地域別大会の申込み方法は説明文を熟読し間違えないようにすること。
2. 申込みファイル、一覧表（公印）、参加費を揃えて支部専門委員へ申し込む。〔要項18支部申込み参照〕  
※要項を確認し、申込み締切日を厳守！専門委員に取りまとめる作業があるため、必ず守ること。  
※申込み方法は、各支部専門委員に確認すること。
3. 必ず参加費を添えて申し込むこと。一度受領した参加費は返還しない。

## 2. 競技会参加上の注意事項

1. 競技会の運営に必要な役員以外は、午前7時前には競技場に来ないこと。
2. 引率者が必ず学校受付を行い、競技終了までつくこと。（引率規定は下の表を参照）
3. ゴミは各自必ず持ち帰り、会場の美化に努めること。  
ビン類、カン類の持ち込みは禁止する。清掃分担に協力すること。
4. 中学生らしい態度で競技会に参加し、観戦すること。（競技役員の指示に従うこと、トイレ等公共物の使用についてはマナーを守ること。）
5. 荷物の自己管理を徹底し、忘れ物・落とし物、盗難防止に努めること。
6. 学校行事で地域別大会への出場が不可能な場合は、事前に〔4月15日（火）必着〕都中体連陸上競技専門部長に「地域変更届け」を提出し、尚且つchiikihenkou@tokyoctr.comへメールに添付して送信すること。この手続きをしない学校は出場を認めません。

提出先 〒192-0902 八王子市上野町97

八王子市立第六中学校 倉持 昇一 部長 宛

\*指示に従い申込書、参加費を持参の上、地域変更先のプログラム編成会議に参加し作業すること。

★以上のことに協力できない団体、または目にあまる行為のあった団体は、以後の競技会への参加を認めないこともある。

★顧問の先生は、競技会前に競技注意事項、変更点等、必ず生徒・保護者に周知すること。

### 東京都中学校体育連盟陸上競技専門部の定める、監督・引率等の規定について

	教員・地域スポーツ団体 責任者	部活動指導員	外部指導者	保護者
監督	○	△	▲	×
引率	○	△	▲	□
受付	○	○	○	□

- ※1. 監督は、競技に関する署名（リレーオーダー用紙等）、抗議などができる。  
リレーは、監督が引率できない場合は、出場できない。
- ※2. △は、「部活動指導員確認書にて」承認を受けた者に限る。
- ※3. ▲は、「外部指導者確認書にて」承認（部長から許可を得た）を受けた者に限る。
- ※4. □は、所属校に陸上競技部がなく個人で登録をする場合のみ保護者による引率を認める。  
・生徒1名に対し、必ず保護者1名が引率すること。  
・当日同大会へ参加している他校の教員（支部専門委員を原則とするが、当日不在の場合は支部内で調整のこと）に対し、学校長を通じて代理監督の依頼を行い、「依頼報告書」を専門部長宛てに提出すること。
- ※5. 上記手続きの詳細は、東京都中学校体育大会実施要項（東京都中体連陸上競技専門部HPよりリンク可）を参照。

### 3. リレーについて

◎共通リレー（学年は自由にエントリーできる）

地域別大会にエントリーした学校で、標準記録に達しなかった場合は、下記の期日までに行われる公認競技会において標準記録に達していれば、その記録証明書（コピー可）を提出することによって総体・通信各大会への参加資格が与えられる。

- ・総体・・・4月1日（火）～6月22日（日）
- ・通信・・・4月1日（火）～7月13日（日）
- ・Web上での結果のみの一覧、リザルトは不可。スタートリストが分かるリザルトは可。
- ・ただし、地域別でエントリーした所属が記録突破したレースの所属と異なるメンバーがいる場合は、認められない。

### 4. 所属番号・アスリートビブス・腰ナンバーについて

1. 所属番号 各学校・地域スポーツ団体などに配当された奇数番号を使用する。  
（1種目に2名出場する場合は奇数番号と偶数番号を使用する）
2. アスリートビブス 1人2枚ずつ用意する。規格：横24cm×縦16cmの白布に男女共通で黒色。文字は太さ1.5cm、高さ縦最低6～最高10cmとする。（規格通りに作製すること）胸と背に、四隅をしっかりと止めてつけること。（跳躍競技は胸か背のどちらか一方でもかまわない。※胸につける方が望ましい）
3. 腰ナンバー 横18cm×縦12cmで作成する。文字の太さは1.5cmとする。

### 5. ユニフォームについて

◎中体連主催の競技会への参加には、自校のユニフォーム及び体育着を認める。地域スポーツ団体等から出場する選手は、地域スポーツ団体などのユニフォームでの参加も認める。

◎リレー競技においては、原則、出場4名のユニフォームは統一したものを着用すること。体育着・部活動Tシャツ等でもよい。

【各大会における配慮事項】

- ① 地域別・・・統一させる。
- ② 総体・通信・・・統一させる。
- ③ 支部対抗・・・学年別は統一させる。共通の選抜チームは上着を統一させる。

◎ランニングパンツの下に履くスパッツに関しては、無地のものを着用すること。色は統一する。（メーカーのロゴやマークがついているものは不可）

◎関東大会の東京代表ユニフォームを関東大会以外の競技会（中体連主催の競技会、全国大会、U16大会、東京陸協および地域陸協主催の競技会）で着用することはできない。

## 6. 地域スポーツ団体等の出場について

### ○中体連主催の競技会

所属する学校もしくは、地域スポーツ団体等で出場する。ただし、地域別へ出場した所属を同一年度内で変更することはできない。またリレー競技及び駅伝については、地域スポーツ団体等として出場する場合は、同一中学校の選手のみで編成する場合に限る。

地域スポーツ団体等から出場する場合の地区については、在籍する学校の地区から出場すること。地域スポーツ団体等が所在する場所の地区ではない。また、地域スポーツ団体等に所属する選手の地区が複数ある場合は、それぞれの地区において申込一覧表を作成し、それぞれの申込先にデータを送付する。地域スポーツ団体等の監督またはコーチは、その大会のプログラム編成会議に出席することができる。

支部対抗は、選手が在籍する学校の市区町村より、地域スポーツ団体等の所属として出場する。

### ○東京陸協主催の競技会やその他の地域陸協等主催の競技会

① 1つの競技会に、「所属する学校」と「地域スポーツ団体等」の両方からの出場はできない。

例) 共通100m 倉持陸子(高尾三中) 共通400mR 倉持陸子(上柚木JAC)

② 地域スポーツ団体等の選手の記録についても東京中体連の資格記録として公認し、東京都中体連記録30傑表に記載をする。

③ U16陸上競技大会については、東京ジュニアに地域スポーツ団体等として参加した選手は、地域スポーツ団体等で出場できる。ただし、東京の中学校に在籍している者とする。

## 7. 総体・通信大会出場の標準記録突破者について

1. 総体へは、地域別大会で標準記録を突破した者(チーム)及び8位入賞者(チーム)・それに相当する者(チーム)(地域変更者)に、出場資格が与えられる。
2. 通信大会へは、地域別大会・総体で標準記録を突破した者(チーム)及び地域別・総体で8位入賞者(チーム)または地域別8位に相当する者(チーム)(地域変更者)に出場資格が与えられる。
3. 走高跳・四種競技は地域別大会で標準記録を突破した者、棒高跳・円盤投は地域別大会または指定期間の公認競技会で標準記録を突破した者に、総体・通信の出場資格が与えられる。
3. 前年度の入賞者(有資格者)も参加できるため、3名を超える場合もある。(3名を超える申込が可能な団体は、地域別大会開催中に本部へ申し出ること)
4. 100m・200m・400m、100mH、110mHの出場資格は、下記の通りとする。

	区部		多摩	
	東部	西部	東部	西部
① 入賞者	8人	8人	8人	8人
② 東西合わせた9位 以降上位8名 ※記録は、1/100秒までで比較する。 ※同タイムの場合は人数が増えることもある	8人		8人	
	+		+	
地域変更選手	上記①、②に相当する記録を出した選手		上記①、②に相当する記録を出した選手	
	+			
	シード選手			
	↓			
	合計48人から64人位(6組~8組)			

## 8. 都（総体・通信）大会出場有資格者について

\*下記の条件を満たす者は出場できる。

1. 前年度 右記3大会8位入賞者（シード選手）【東京都総合体育大会、通信陸上、支部対抗陸上】
2. 出場種目について
  - ① 学年種目はそれぞれの上級学年種目
  - ② 1・2年種目は次年度の同種目（但しリレーを除く）
  - ③ 1年男子（100mH・1500m）、2年男子（110mH）は共通種目へ  
2年男子1500mは、共通男子1500mまたは共通男子3000mのどちらかに出場可
3. 「日清食品カップ」東京都小学生陸上競技交流大会、全国小学生陸上競技交流大会、東日本小学生函館大会（前年度）  
男女100m、男女800m、男女コンバインドA：走高跳、男女コンバインドB：走幅跳、また1500mだけは、東京陸協主催大会の全ての大会において、総体の参加標準記録を突破していた場合、シード選手としての扱いとする。  
※100mについては下記の記録を参加標準記録とする。（日本陸連全国ランキング100位相当）

	標準記録		標準記録
男子	13"00	女子	14"00

4. トラックフェスティバル東京、MDCFINALinTokyo2024の男女1500mにおいて総体の参加標準記録を突破していた場合、シード選手としての扱いとする。



## 9. 総体へのオープン参加について

出場有資格者が3名を超える場合、別途ナンバーを割り当てオープン参加としての出場を認める。総体は学校対抗なのでオープン参加の選手は次のラウンドへの進出やトップ8にも進出できない。但し、記録は公認し上部大会への出場資格は認める。（競技委員長に参加申し込みをすること）

## 10. 中体連主催大会における棒高跳・円盤投について

棒高跳と円盤投については、普及育成の観点から地域別大会においてオープン参加の出場を認める（棒高跳は、支部対抗でも認める。）以下、出場規準について示す。

### 1. 棒高跳

(1)地域別大会出場選手について：

- ① 地域別大会に参加できる標準記録を設ける。（安全面での配慮）  
（男子2m40 女子1m80 自校計測可）
- ② 参加標準記録（上記）に達していれば、学校での参加人数の制限は設けない。  
（正選手以外はオープン参加とし、3人目以降は、競技委員長から配当番号（要項17大会申込手順及び支部申込み場所 参照）をもらうこと。）
- ③ オープン種目で出場した選手は、地域別大会に1種目出場したことになり、他種目は1種目しか出場できない。（但し、リレーの参加は可）
- ④ オープン種目で出場した選手には賞状は出さない。

(2)都大会への参加条件について：

- ① 総合体育大会の参加標準記録は男子2m60、女子2m00（公認記録）とする。この記録を4月1日（火）～6月22日（日）までに行われる公認大会で標準記録に達していれば、その記録証明証（コピー可）を提出することによって出場できる。  
（各校2名まで。昨年度の入賞者がいれば（シード選手）それ以上もある。）
- ② 通信大会の参加標準記録は、男子2m80、女子2m20（公認記録）とする。この記録を4月1日（火）～7月13日（日）までに行われる公認大会で標準記録に達していれば、その記録証明証（コピー可）を提出することによって出場できる。  
（各校2名まで。昨年度の入賞者がいれば（シード選手）それ以上もある。）
- ③ 支部対抗には正選手以外にオープンで出場できるが、その場合の参加標準記録は 男子2m60、女子2m00とする（公認記録）。この記録をこの年度の支部対抗のプログラム編成会議までに行われる公認記録競技会で標準記録に達していれば、その記録証明証（コピー可）を提出することによって出場できる。

(3)その他：安全面を考慮し、天候により棒高跳の日程を変更することもあり得る。

